

「まねきねこ」腰高社長

起業で人生面白く

利根商高生へ助言

起業への魅力発信を

目的とした「創業者創

出ミーティング」が21

日、みなかみ町の利根

商業高で開かれた。力

ラオケチエーン「まね

きねこ」などを展開す

るコシダカホールディ

ングス(前橋市大友町)

の腰高博社長(58)が1

年生158人を前に、

事業経営の魅力などに

ついて特別講演した。

腰高氏は30歳頃、家

業のラーメン店からカラオケ事業に転身。その後、いち早くドリンクバーの導入や、飲食

物の持ち込み許可な



事業経営の魅力などについて語る腰高氏

ど、独自のアイデアで事業を発展させた。「お客さま第一主義で、必要な物、望む物などを考えるのが商売人。突き詰めると、世のためにもつながらない」と語った。

最後に、日本を代表する企業も小さな町工場や店からスタートしていることに触れ、「事業を繰り返すことでどんどん大きくなる。特にアイデアマンや企画マンは、起業によって面白い人生が描けると

思う」と助言した。講演を聞いた中沢琴美さん(16)は「起業は失敗する可能性もあるのにすごいと思った。祖父が店を出しているので、将来やってみたい」と話した。

同ミーティングは県の推進事業。高校生や大学生を対象に、県内出身の創業者らと交流を図りながら、創業への機運を高めてもらおうと、2015年から実施している。